



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月2日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8154 URL http://www.taxan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 52,221 | △10.5 | 765 | △52.1 | 608 | △65.7 | 1,396 | 21.7 |
| 28年3月期第1四半期 | 58,349 | 2.6 | 1,598 | 89.6 | 1,773 | 73.3 | 1,147 | 153.9 |

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △422百万円 (△132.8%) 28年3月期第1四半期 1,289百万円 (377.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 49.41 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 40.60 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 115,489 | 60,396 | 52.3 |
| 28年3月期 | 124,281 | 61,808 | 49.7 |

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 60,348百万円 28年3月期 61,764百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 20.00 | — | 35.00 | 55.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

28年3月期 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当15円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 108,000 | △12.2 | 1,500 | △64.2 | 1,500 | △66.1 | 1,800 | △38.8 | 63.71 |
| 通期 | 230,000 | △6.3 | 5,700 | △26.8 | 6,400 | △19.1 | 4,700 | △13.6 | 166.34 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成28年8月2日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 連結範囲の変更を伴わない特定子会社の異動がありました。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年3月期1Q | 28,702,118株 | 28年3月期 | 28,702,118株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期1Q | 446,980株 | 28年3月期 | 446,824株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年3月期1Q | 28,255,197株 | 28年3月期1Q | 28,256,017株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の金融政策を背景に雇用などに改善がみられたものの、設備投資や個人消費が伸び悩むなど足踏み状態が続きました。また、中国をはじめとする新興国経済の減速や、英国のEU離脱による円高進行により企業収益への影響が懸念されるなど、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、パソコンやスマートフォンなどのモバイル端末市場および遊技機器市場が低迷するなど厳しい状況で推移いたしました。一方、車載関連市場およびIoT^(注1)関連市場は持続的な成長が見られました。

かかる環境の中で、当社グループは「すべてはお客様のために」という経営理念のもと、グループ内の事業統合や再編による経営の効率化を推進し、事業拡充に向け成長分野へ経営資源の積極的な投入を行いつつ、国内の既存大手顧客への拡販活動や海外ビジネスの拡大に努めてまいりましたが、主要顧客の生産調整や取扱商品の商流変更などの影響を受けました。

その結果、第1四半期連結累計期間における売上高は52,221百万円（前年同四半期比10.5%減）、営業利益は765百万円（前年同四半期比52.1%減）、経常利益は608百万円（前年同四半期比65.7%減）となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は税効果会計の影響による法人税等調整額の減少などにより1,396百万円（前年同四半期比21.7%増）となりました。

(注1) Internet of Thingsの略語。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMS^(注2)などの開発・製造・販売など）

電子部品事業は、国内外の主要顧客において生産調整が実施され、電子機器向けEMSが減少いたしました。また、半導体メーカーの代理店政策の変更により国内における半導体の取扱高も減少いたしました。加えて、熊本地震の影響により一部の電子部品、電子機器などの販売が減少いたしました。その結果、売上高は39,237百万円（前年同四半期比13.9%減）となり、セグメント利益は623百万円（前年同四半期比57.7%減）となりました。

(注2) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

情報機器事業は、住宅向け関連商材やデジタルカメラなどの販売が低迷いたしましたが、販売キャンペーンの実施など営業活動を強化したことにより、パソコンやその他コンシューマ向け商品などの取扱高が増加いたしました。また、グループ内における子会社の再編を行い経営の効率化を図りました。その結果、売上高は10,116百万円（前年同四半期比4.7%増）となり、セグメント利益は105百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

ソフトウェア事業は、アニメーションのCG制作やソフトの開発などの受注が低迷いたしました。その結果、売上高は477百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益は75百万円（前年同四半期比47.6%減）となりました。

④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

その他事業は、国内のアミューズメント業界向けゲーム機器事業やゴルフ用品販売事業が消費の落ち込みにより低迷いたしました。その結果、売上高は2,391百万円（前年同四半期比8.7%減）となり、セグメント損失は70百万円（前年同四半期はセグメント損失88百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、115,489百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,791百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債につきましては、55,093百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,379百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

純資産につきましては、60,396百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,411百万円の減少となりました。これは主に為替変動に伴う為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①平成29年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|---------|-------|-------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 103,000 | 1,100 | 1,200 | 1,100 | 38.93 |
| 今回修正予想 (B) | 108,000 | 1,500 | 1,500 | 1,800 | 63.71 |
| 増減額 (B) - (A) | 5,000 | 400 | 300 | 700 | — |
| 増減率 (%) | 4.9 | 36.4 | 25.0 | 63.6 | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期) | 122,975 | 4,195 | 4,427 | 2,943 | 104.17 |

②業績予想修正の理由

国内外におけるEMSビジネスおよびパソコンやその他コンシューマ向け関連商品の販売などが当初予想よりも好調に推移したことに加え、グループ内の事業統合や再編による経営の効率化により、平成29年3月期第2四半期の連結業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いておりますので、前回公表の予想値を据え置いております。今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社の加賀ソルネット株式会社と加賀ハイテック株式会社が加賀ソルネット株式会社を存続会社として合併したため、加賀ソルネット株式会社が当社の特定子会社に該当しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,516 | 22,412 |
| 受取手形及び売掛金 | 54,795 | 46,419 |
| 有価証券 | 166 | 181 |
| 商品及び製品 | 14,898 | 15,409 |
| 仕掛品 | 266 | 624 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,010 | 3,566 |
| 繰延税金資産 | 849 | 1,553 |
| その他 | 4,638 | 3,538 |
| 貸倒引当金 | △179 | △161 |
| 流動資産合計 | 101,961 | 93,543 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,112 | 5,028 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,992 | 1,933 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 813 | 760 |
| 土地 | 4,138 | 4,136 |
| 建設仮勘定 | 0 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 12,058 | 11,859 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 495 | 472 |
| ソフトウェア | 422 | 410 |
| その他 | 85 | 82 |
| 無形固定資産合計 | 1,003 | 966 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,519 | 6,213 |
| 繰延税金資産 | 257 | 474 |
| 差入保証金 | 739 | 722 |
| 保険積立金 | 916 | 917 |
| その他 | 1,931 | 1,792 |
| 貸倒引当金 | △1,107 | △1,000 |
| 投資その他の資産合計 | 9,257 | 9,119 |
| 固定資産合計 | 22,319 | 21,945 |
| 資産合計 | 124,281 | 115,489 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 36,858 | 32,233 |
| 短期借入金 | 6,295 | 5,535 |
| 未払費用 | 3,311 | 2,723 |
| 未払法人税等 | 995 | 475 |
| 役員賞与引当金 | 185 | 46 |
| その他 | 3,523 | 3,269 |
| 流動負債合計 | 51,169 | 44,284 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,007 | 5,650 |
| 繰延税金負債 | 1,246 | 1,160 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,211 | 1,195 |
| 退職給付に係る負債 | 1,774 | 1,777 |
| 資産除去債務 | 142 | 138 |
| その他 | 919 | 885 |
| 固定負債合計 | 11,303 | 10,808 |
| 負債合計 | 62,472 | 55,093 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,133 | 12,133 |
| 資本剰余金 | 13,912 | 13,912 |
| 利益剰余金 | 35,195 | 35,602 |
| 自己株式 | △539 | △539 |
| 株主資本合計 | 60,702 | 61,109 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 681 | 454 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 713 | △898 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △338 | △316 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,061 | △760 |
| 非支配株主持分 | 44 | 47 |
| 純資産合計 | 61,808 | 60,396 |
| 負債純資産合計 | 124,281 | 115,489 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 58,349 | 52,221 |
| 売上原価 | 50,334 | 45,426 |
| 売上総利益 | 8,014 | 6,795 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,416 | 6,030 |
| 営業利益 | 1,598 | 765 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 26 | 12 |
| 受取配当金 | 63 | 65 |
| 受取手数料 | 53 | 36 |
| その他 | 78 | 67 |
| 営業外収益合計 | 221 | 181 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27 | 33 |
| 為替差損 | 3 | 293 |
| その他 | 15 | 11 |
| 営業外費用合計 | 46 | 337 |
| 経常利益 | 1,773 | 608 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 1 | 0 |
| 事業譲渡益 | — | 35 |
| 特別利益合計 | 1 | 35 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 3 |
| 投資有価証券評価損 | 2 | — |
| ゴルフ会員権評価損 | — | 10 |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 2 | 13 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,772 | 630 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 347 | 212 |
| 法人税等調整額 | 281 | △983 |
| 法人税等合計 | 629 | △771 |
| 四半期純利益 | 1,143 | 1,401 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,147 | 1,396 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △3 | 5 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 136 | △227 |
| 繰延ヘッジ損益 | △19 | △5 |
| 為替換算調整勘定 | 79 | △1,613 |
| 退職給付に係る調整額 | △50 | 21 |
| その他の包括利益合計 | 146 | △1,824 |
| 四半期包括利益 | 1,289 | △422 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,293 | △426 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △3 | 3 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|------------|--------------|-----------|--------|-------------|---|
| | 電子部品 事業 | 情報機器 事業 | ソフトウェア 事業 | その他 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 45,592 | 9,666 | 471 | 2,618 | 58,349 | — | 58,349 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 187 | 170 | 684 | 238 | 1,281 | △1,281 | — |
| 計 | 45,779 | 9,837 | 1,156 | 2,857 | 59,631 | △1,281 | 58,349 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 1,472 | 93 | 144 | △88 | 1,622 | △24 | 1,598 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△24百万円には、セグメント間取引消去14百万円、のれんの償却額△38百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|------------|--------------|-----------|--------|-------------|---|
| | 電子部品 事業 | 情報機器 事業 | ソフトウェア 事業 | その他 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 39,237 | 10,116 | 477 | 2,391 | 52,221 | — | 52,221 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 214 | 133 | 354 | 514 | 1,217 | △1,217 | — |
| 計 | 39,452 | 10,249 | 831 | 2,905 | 53,439 | △1,217 | 52,221 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 623 | 105 | 75 | △70 | 734 | 30 | 765 |

(注) 1. セグメント利益の調整額30百万円には、セグメント間取引消去30百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。